

出前授業「めざせむしはかせ」授業実施例

実施校：神田小学校 1年生1組、2組の2クラス

授業実施日：2020年9月15日（火曜日）2時間目（9時40分～10時25分）1年1組

3時間目（10時45分～11時30分）1年2組

講師：下山 孝氏（環境省登録 環境カウンセラー）<http://u0u1.net/VYub>

単元：小学1年生 生活科 「いきものとなかよし」

目標：むしをみつけることができる。苦手な人に説明できる。

授業概要：

時間	流れ	内容
5分	講師自己紹介	講師の自己紹介と講師が登録している環境カウンセラーというお仕事の内容を簡単にお話します。
	はじめに	むしが苦手な人が嫌がることはやめよう。 むしが得意の人は、人にむしのことが分かるように教えてあげよう。 *大阪なおみ選手（テニス）のお話を交える。
5分	むしのスケッチ	知っているむしの絵をかいてみよう。 →書いたむしの特徴を見ます。むしの足の数は何本？蝶々の羽の数は？お鼻は？ →実際に外に出てむしを自分の目で確かめます。 わかっているようでも、知らないことが多いことに気づきます。
30分	外でむし探し	校内の学習園や築山でむしを探します。 むしのいる所はどこだろうか？ →むしが苦手な人と一緒に虫を探します。 むしが苦手な人に、探し方を教えてあげます。 はっきりとわからないことは詳しく何度も確かめます。
5分	見つけたむしを観察	だんごむしの足の数は何本？14本？ バッタのおなかはどこ？足の生えているところから下の部分？ 目はいくつ？2つ？ お鼻はどこに？おなかの所？ →人から教えてもらった事だけではなく、自分で探して見つけ（知る）、わからない事を自分で調べて考えてみます。 他の人にも丁寧に教えられたかを確認します。

1. 講師自己紹介



2. むしのスケッチ





3. 外でむし探し



4. 見つけたむしを観察



[授業のポイント]

- ・人のいやがることをしないで、うまく調べられたかやさしく教えることができたか、むしの苦手な人も好きになることを気づかせます。
- ・一人がわかるのではなく、みんながわかること。→SDG sの基本的な理念です。
- ・教えてもらったことだけでなく、自分で探して、見て、調べて、知る事です。
- ・わからないは、気にしない。わからないことは繰り返し調べる。→自分の力を見出すことがポイントです。



以上